



かめきやま
香貫山

沼津の生きもの
知ろう、守ろう！

かめきやま きちよう い
～香貫山の貴重な生きもの～



カゲロウラン (ラン科)
山頂近くの広葉樹林で見られます。温暖化の影響で分布が広がったようです。



イヨカズラ (ガガイモ科)
尾根北側の草地で保護されています。海岸に近い乾いた草地に生育します。



イヌヨモギ (キク科)
香陵台近くの斜面で見られます。やや乾いた丘陵に生え、はうようにのびます。



シロマダラ (ナミヘビ科)
夜行性で目撃が難しい種です。主にオカダトカゲやニホンカナヘビを捕食します。



サトキマダラヒカゲ (ヒカゲチョウ科)
香貫山では広く見られます。竹林やササ原に生息し、コナラなどの樹液を吸います。



モンズズメバチ (スズメバチ科)
山の樹洞などに巣をつくり、夜でも活動します。クヌギの樹液に集まります。

とく てい がいらい せいぶつ
～特定外来生物～

もともとその場所にいなかった生きもので、人間によって持ち込まれたものを「外来生物」といいます。その中でも、生態系などに被害を及ぼすため、特に注意が必要なものとして「特定外来生物」といいます。

今回の調査では鳥類の「ガビチョウ」と「ソウシチョウ」が確認されました。これらは、日本に昔から住むウグイスやヤブサメなどのえさやすみかを奪ってしまう恐れがあります。

他にも、身近な生きものであるミシシッピアカミミガメやアメリカザリガニが「条件付特定外来生物」とされていて、飼うことはできてもその後放すことや逃がすことはできません。捕まえても持ち帰らないようにしましょう。



ガビチョウ (チメドリ科)
出典：「最新日本の外来生物」
一般財団法人自然環境研究センター編著 2019年



ソウシチョウ (チメドリ科)
出典：「最新日本の外来生物」
一般財団法人自然環境研究センター編著 2019年



条件付
ミシシッピアカミミガメ
通称：ミドリガメ (ヌマガメ科)



条件付
アメリカザリガニ
(アメリカザリガニ科)

- 外来生物の被害を防止するために、
- ①「入れない」 外来生物を日本に入れない。
 - ②「捨てない」 ペットや観葉植物などの外来生物を捨てない、逃がさない、放さない。
 - ③「拡げない」 すでに野外にいる外来生物をほかの地域に拡げない。

みんなで守ろう！

生きものを探してみよう！

香貫山は、沼津駅から南東に1kmほどのところにある市街地に隣接した小山。標高193mの山頂付近にある展望台からは沼津市街地や駿河湾を一望でき、天気良ければ愛鷹山越しに富士山を眺められ、春の桜、初夏のアジサイ、秋の紅葉など、四季折々の草花を楽しむことができます。



環境イメージキャラクター
沼環 ミライちゃん
エコぱっくん

鳥類



トビ

香貫山上空をよく飛んでいます。



エゾビタキ

渡りの時期に立ち寄ります。木の頂に止まる事が多いです。



キセキレイ

香陵台近くの道路で見られます。尾羽を振りながら歩きます。



コゲラ

「ギー」と鳴く小さなキツツキで、年中見られます。



ヤマガラ

木の枝から枝へ飛び移りながら昆虫類や種子などを食べます。



メジロ

眼のまわりが白い小鳥で、年中多く見られます。

菌類



ヒイロタケ

赤いキノコで広葉樹の枯木に発生します。食べられません。

両生類



早春～秋

ヤマアカガエル

山で見られ、2月頃に産卵し、休眠して5月に再び活動します。



春～秋

アナグマ

長いトンネルを掘って生活します。夜行性で雑食性です。

爬虫類



春～秋

アオダイショウ

様々な場所に生息し、大きくなると鳥や哺乳類を食べます。



春～秋

シマヘビ

カエルを好むため水辺でよく見られます。木にはあまり登りません。



春～秋

カナヘビ

よく見られるトカゲで、ざらついたような体表面です。



春～秋

オカダトカゲ

日当たりのよい場所が好みで、なめらかな体表面です。

植物



花は5月

フジ

よく見られるつる植物で、S巻きです。ヤマフジはZ巻きです。



花は6～7月

コクラン

暖地の林に生えるランの仲間、花は黒っぽいです。



花は7～8月

キツネノカミソリ

葉が枯れたあとにだいたい色の花が咲きます。有毒植物です。



花は5月

ハコネツギ

海岸近くに生えます。花は2色が入り交じります。



花は8～10月

シラヤマギク

長い柄のあるハート型の葉が特徴的なキクです。



花は9～10月

オケラ

日当たりのよい草地に生えます。根は薬用になります。

甲殻類



春～秋

サワガニ

一生を淡水で過ごし、きれいな水を好みます。雑食性です。

陸生貝類



春～秋

ウスカワマイマイ

人家近くの庭や農地で多く見られます。夜行性です。

昆虫類



初夏～秋

ナツアカネ

水田や明るい湿地で繁殖し、若い成虫は山の林縁で見られます。



4～11月

クロコノマチョウ

夕方に主に活動し、林の低い所を飛んで地面に止まります。



7～8月

トビロスズメ

流線型の体で、高速で羽ばたきます。トイレの壁などで見られます。



5～9月

ゴマダラチョウ

樹林地でよく見られます。幼虫はエノキの葉を食べます。



特定外来

5～9月

アカボシゴマダラ

外来種で南関東から広がっています。ゴマダラチョウと競合します。



4～9月

ジャコウアゲハ

幼虫はウマノスズクサ科の葉を食べ、成虫は花を訪れます。



7～8月

トウキョウヒメハンミョウ

道や公園をすばやく歩き回って昆虫類などを捕食します。



6～8月

ウスバカミキリ

触覚が長く、あごが大きいです。背面に光沢がありません。



6～8月

カブトムシ

香貫山では夏にクヌギの樹液に集まります。